



「わが村は美しくー北海道」運動 第10回コンクール大賞表彰式・交流会 参加しよう・広げよう・いいもの伝えよう

国土交通省北海道開発局農業水産部農業振興課

わが村運動について

北海道開発局では、道内各地で取り組まれている地域の魅力と活力を高めようとする住民主体の活動を見出し、これを広く発信し波及させていくことによって、農山漁村のさらなる発展に寄与することを目的に、「わが村は美しくー北海道」運動を推進しています。当運動では、魅力ある地域の活動を表彰するための様々な取組を行っています。

わが村コンクールについて

平成13年度にスタートしたコンクールでは、景観の形成や地域特産物のブランド化、活発な人の交流づくり等に寄与する地域の特色豊かな活動を表彰しています。コンクールは2年をかけて開催しており、コンクールの1年目にブロック審査を行い、優秀賞と奨励賞を選考しています。2年目には大賞審査を行い、各ブロックの優秀賞から大賞を選考しています。

第10回となる今回のコンクールは、令和2年12月から募集を開始し、全道で75団体の応募がありました。コンクール1年目の令和3年度は、全道10のブロック毎に応募団体の現地調査を行い、審査選考の結果、優秀賞13団体と奨励賞20団体が選ばれました。

第10回コンクール 優秀賞一覧

ブロック	団体名	市町村
札幌	農猿	南幌町
	そらち南さつまいもクラブ	由仁町 栗山町
函館	奥尻高等学校オクシリイノベーション事業部×奥尻ワイナリー	奥尻町
小樽	ベジタブルワークス株式会社	真狩村
旭川	富良野市立樹海学校	富良野市
	けんぶちキヌア生産普及組合	剣淵町
室蘭	北のなのはな会	安平町
釧路	有限会社 仁成ファーム	釧路市
帯広	北海道帯広農業高等学校	帯広市
	食品科学科 地域資源活用分会	
	ほんべつ豆まかナイト実行委員会	本別町
網走	えづらファーム	遠軽町
留萌	北海道遠別農業高等学校	遠別町
稚内	稚内農業協同組合 稚内牛乳	稚内市

第10回コンクール 奨励賞一覧

ブロック	団体名	市町村
札幌	北海道当別高等学校 ボランティア局	当別町
	南区農園ガイドの会	札幌市
函館	やくも元気村	八雲町
	七飯の食を考える会	七飯町
	福島町千軒地域活性化実行委員会	福島町
	やまの会	せたな町
小樽	北海道俱知安農業高等学校（日本酒プロジェクト）	俱知安町
旭川	北海道旭川農業高等学校 食品科学科あったか旭川まん研究グループ	旭川市
	特定非営利活動法人 もりねっと北海道	旭川市
	JAたいせつ田んぼアート実行委員会	旭川市
	当麻土地改良区	当麻町
室蘭	沙流太ほおずき絆の会	日高町
釧路	北海道標茶高等学校 牛乳班	標茶町
	北海道厚岸翔洋高等学校 海洋資源科	厚岸町
	アナジャコチーム	
帯広	北海道士幌高等学校 乳加工専攻班	士幌町
	MEMロビーナッツ	芽室町
網走	北海道美幌高等学校 環境改善班	美幌町
	特定非営利活動法人 西興部村猟区管理協会	西興部村
留萌	上田ファーム株式会社	苫前町
稚内	就労継続支援B型事業所稚内市北光園	稚内市

続く、コンクール2年目となる本年度は、優秀賞13団体の中から、特に先導性・モデル性の高い活動を行う2団体を大賞として選考するとともに、今後とも活動の継続を期待する3団体に大賞審査委員特別賞が贈られることとなり、11月10日にホテルマイステイズ札幌アспенで、表彰式と交流会を開催しました。



前列左から「北のなのはな会」(1名)「ほんべつ豆まかナイト実行委員会」(2名)の大賞受賞2団体、後列左から「えづらファーム」(1名)「農猿」(2名)「ベジタブルワークス株式会社」(2名)の大賞審査委員特別賞受賞3団体

表彰式では、「大賞」である、「菜の花」の再生可能エネルギー資源、観光資源としての可能性を見出し、地域で初めて菜の花の栽培・研究を開始したほか、特産品の製造・販売にまで発展させると共に、観光協会等との連携により、「菜の花さんぽ」や「菜の花フォトコンテスト」を開催、観光客向けに毎年の菜の花ほ場を示した菜の花マップもホームページで公開している「北のなのはな会(安平町)」。



北のなのはな会：菜の花さんぽの広大な景観

本別町の特産物である“豆”をテーマに豆の消費拡大や地域活性化を目的として「ほんべつ豆まかナイト」を開催しており、準備・運営段階から関係団体と連携し、町内のコミュニティづくりや人材育成なども目指した実行委員会として活動、またイベントで使用する豆の栽培をプロジェクトとし、食育・地域学習の要素

も含めるなど、十勝農業継承にも貢献している「ほんべつ豆まかナイト実行委員会(本別町)」の2団体に北海道開発局石塚局長より表彰状が授与されました。



ほんべつ豆まかナイト実行委員会:「豆まかナイト」の様子(2019年)

また、「大賞審査委員特別賞」である、「農村や農業の魅力、素晴らしさ」を多くの人に感じてもらいたいとの思いから、畑作経営を中心に様々な地域活性化につながる取組を展開しており、農家民宿の経営、住み込みボランティアの受け入れ、農場アクティビティの提供などを行い、交流人口を増やすことにより、地域社会の維持や活性化に大きく貢献している「えづらファーム(遠軽町)」。



えづらファーム：就農時に自らが感じた農業の素晴らしさ、豊かさを、多くの人に感じてもらいたい、との思いが活動の原点、と話す江面さん

地域おこしや地産地消を目的として、町内の若手農業者で活動を開始、現在では職業の垣根を越えて地域活性化を目指す団体に発展、南幌町の魅力を次世代に伝え継承していくために、子ども達に農業のかっこよさを伝えている「農猿(南幌町)」。



農猿:「野祭~YASAI~」でのトラクター試乗体験などのアトラクションを通じて子ども達に農業のかっこよさを伝授

真狩村の風土を生かした特別栽培農産物を7種栽培、農業を収益性のある魅力的な職業にすることを理念とし、農作物の栽培から、農業機械の開発、自社トラックでの輸送、販売に至るまでを効率化することにより、持続可能な農業と働きやすい職場づくりを大切にする「ベジタブルワークス株式会社（真狩村）」の3団体に大賞審査委員長の中井和子氏より表彰状が授与されました。



ベジタブルワークス株式会社：自社開発した運搬機（アームの長さ 片側16m）を使用したブロッコリーの収穫作業

大賞審査委員長からの講評では、「わが村は美しくー北海道」運動は農林水産業の健全な生産活動によってもたらされる「景観」、「地域特産物」、「人の交流」という3つの要素が相互に関連し合いながら、バランス良く機能していることを目指しており、それらを総合的に評価することを、7名の審査委員の共通する審査ポイントとして選考を進めたことなどが説明されました。

表彰式に続き、NPO法人わが村は美しくー北海道ネットワーク主催により開催された「交流会」は、前回までは、コンクール受賞団体や関係者100名ほどが集まり、情報交換を行いつつ交流を深める形式をとっていました。しかし、今回はコロナ禍での開催を踏まえ、十分な感染防止対策のもと、会場参加と遠隔地からのweb参加のハイブリッド形式で座談会を催し、その様子を全道の関係者へweb配信する初めての試みを行いました。

座談会は、表彰式に参加された5団体と大賞審査委員らに加え、優秀賞の中からweb参加した2団体が8名ずつ2テーブルに分かれて行われました。優秀賞2団体は、地元の生乳を使って乳製品を加工し、「稚内ブランド」として販売普及を進めるほか、地域の小学生を対象に搾乳体験なども含めた牧場見学や出前授業、バター作り体験などの様々な食育活動を継続して実施している「稚内農業協同組合 稚内牛乳（稚内市）」。



稚内農業協同組合 稚内牛乳：稚内の牛乳の美味しさを地元の人に知ってもらうことで稚内の農業への関心を高めてほしいとの想いから、農協が乳製品の製造や販売普及を進める「稚内牛乳」

ペルー共和国パルカマヨ区との姉妹都市提携が縁で、アンデス地方原産のキヌア栽培を開始しましたが、全くゼロからのスタートから商品化に至るまでを、大変な苦勞の末に実現させた「けんぶちキヌア生産普及組合（剣淵町）」にweb参加していただきました。



けんぶちキヌア生産普及組合：平成27年に試験栽培を始めて以来、令和3年3月によりやく販売を実現した「けんぶち産キヌア」

各団体による活動紹介から始まり、徐々に打ち解けていくに従い、話の内容は活動で生ずる様々な体験や苦勞話、活動の原動力にまで及び、「交流」の新しい形を示すことができたと考えています。

今後に向けて

北海道開発局では、当運動の他にも、道路部門の「シーニックバイウェイ北海道」や河川部門の「かわたびほっかいどう」等、活力ある地域づくりを目指した様々な取組が行われています。

今後も、これらの関係部門と連携を深め、より「美しい」わが村を目指し、多様な活動を展開していきます。



交流会の様子
円卓に加え遠隔地からのweb参加による座談会の様子を全道の関係者へweb配信（試行）